2 ハードウェアのセットアップ

本装置を設置して、電源をONにすることができるまでのセットアップ手順について説明します。

設　置

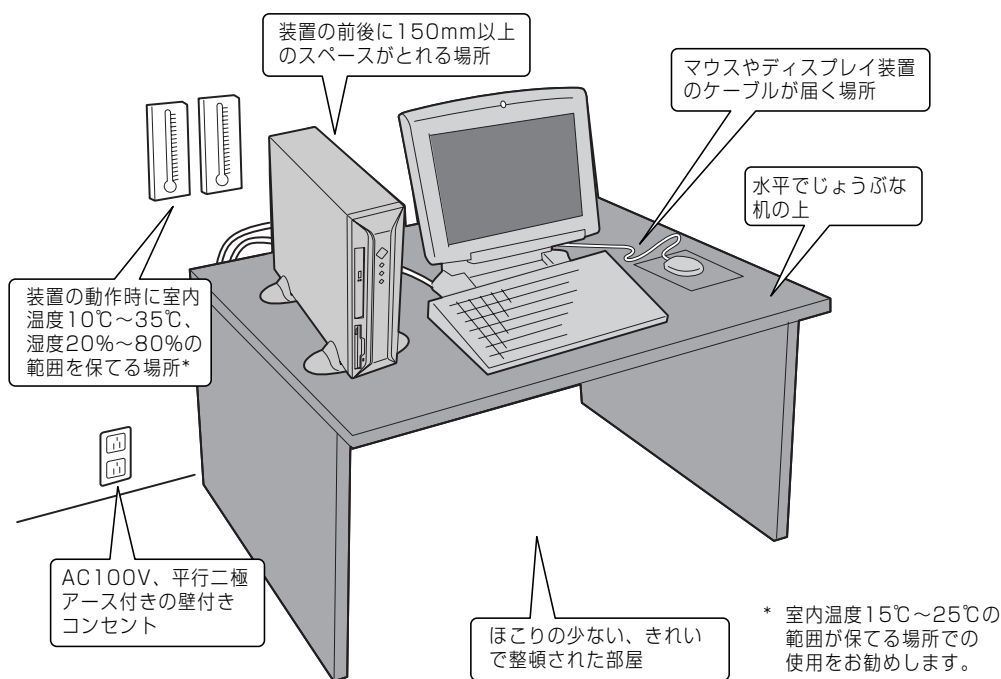
本体の設置について説明します。

設置場所

⚠注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- **指定以外の場所に設置しない**

本装置の設置にふさわしい場所は次のとおりです。設置場所が決まったら、設置場所にゆっくりと静かに置いてください。

次ページに示す条件に当てはまるような場所には設置しないでください。これらの場所に本装置を設置すると、誤動作の原因となります。

温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）。

強い振動の発生する場所。

腐食性ガスの発生する場所（大気中に硫黄の蒸気が発生する環境下など）、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。

帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。

物の落下が考えられる場所。

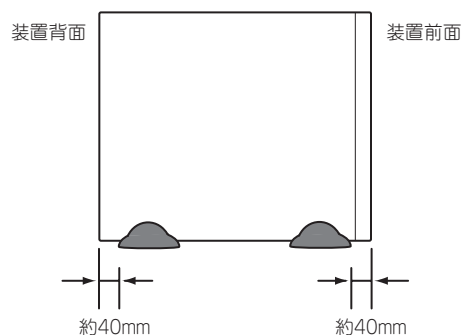
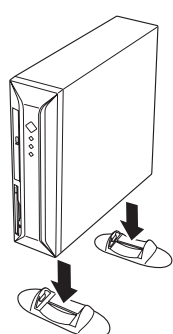
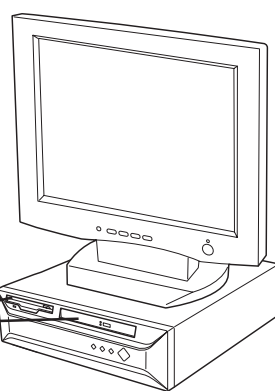
電源コードまたはインタフェースケーブルを足で踏んだり、引っ掛けたりするおそれのある場所。

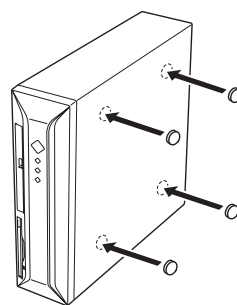
強い磁界を発生させるもの（テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど）の近く（やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください）。

本装置の電源コードを他の接地線（特に大電力を消費する装置など）と共用しているコンセントに接続しなければならない場所。

電源ノイズ（商用電源をリレーなどでON/OFFする場合の接点スパークなど）を発生する装置の近くには設置しないでください。（電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください。）

設置手順

本装置は縦置きでも横置きでも設置することができます。
縦置きにする場合は、図のように本装置を立てて、添付のスタビライザで固定してください。

横置きにする場合は、図のように置いてください。
本装置の上には液晶ディスプレイ装置(10kgまで)を置くことができます。

フロッピーディスクドライブ/CD-ROMドライブが上になるように向けて置く。

横置きに設置する場合は、添付のゴム足(4個)を底面四隅にバランス良く貼り付けてください。

接　続

本装置と周辺装置を接続してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

周辺装置との接続

本装置には、さまざまな周辺装置と接続できるコネクタが用意されています。下図は本装置が標準の状態で接続できる周辺装置とそのコネクタの位置を示します。周辺装置を接続してから本装置の電源コードのプラグをコンセントにつなげます。

⚠ 注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- **プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない**
- **指定以外のインタフェースケーブルを使用しない**

LINE端子を持つ機器
（オーディオ機器など）

シリアルインタフェースを持つ装置
（モデムなど）

シリアルインタフェースを持つ装置
（UPSなど）

LAN上のネットワークシステム
（ハブを介して接続されます）

ハブ（マルチポート
リピータ）

2

1

USBインタフェースを
持つ装置*（ターミナル
アダプタなど）

USBインタフェースを
持つ装置*（ターミナル
アダプタなど）

パラレルインタ
フェースを持つ
プリンタ

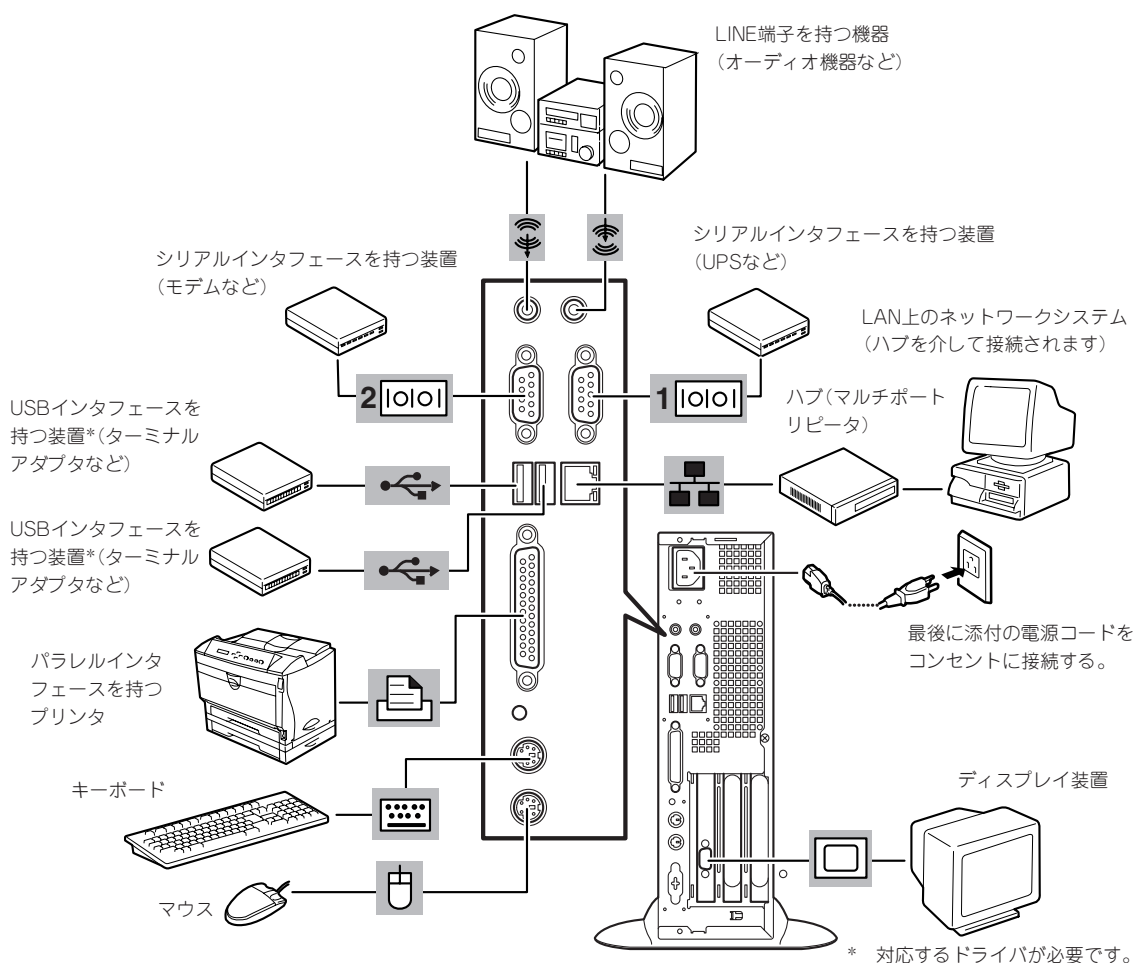
最後に添付の電源コードを
コンセントに接続する。

キーボード

マウス

ディスプレイ装置

*　対応するドライバが必要です。

重要

- OSがプリインストールされている場合、OSのセットアップが完了するまではキーボード、マウス、ディスプレイ装置以外の周辺装置を接続しないでください。
- 無停電電源装置への接続やタイムスケジュール運転の設定、サーバスイッチユニットへの接続・設定などシステム構成に関する要求がございましたら、保守サービス会社の保守員(またはシステムエンジニア)にお知らせください。
- 本装置および接続する周辺装置の電源をOFFにしてから接続してください。ONの状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- NEC以外(サードパーティ)の周辺装置およびインタフェースケーブルを接続する場合は、お買い求めの販売店でそれらの装置が本装置で使用できることをあらかじめ確認してください。サードパーティの装置の中には本装置で使用できないものがあります。
- 接続するモデムは、NECの[DATAX COM 336B]またはオムロン社製[ME5614D]をご使用になることをお勧めします。
- シリアルポートコネクタには専用回線を直接接続することはできません。
- 無停電電源装置(UPS)に本装置を接続する場合に使用するCOMポートはシリアルポート1コネクタを使用してください。シリアルポート2コネクタに接続するとUPSが正しく動作しないことがあります。
- オーディオ出力コネクタ(ラインアウト)にはヘッドフォンなどアンプのない機器を接続しないでください。十分な出力レベルが得られません。

電源コードの接続

電源コードの電源プラグをコンセントにつなげます。

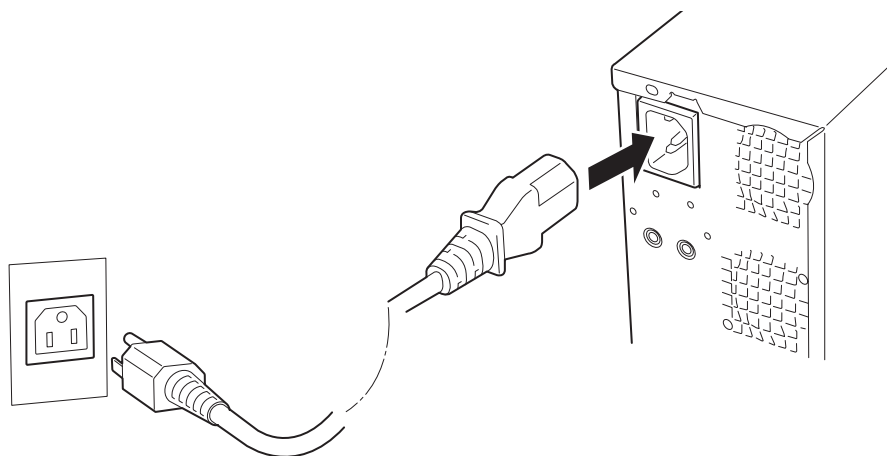
装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

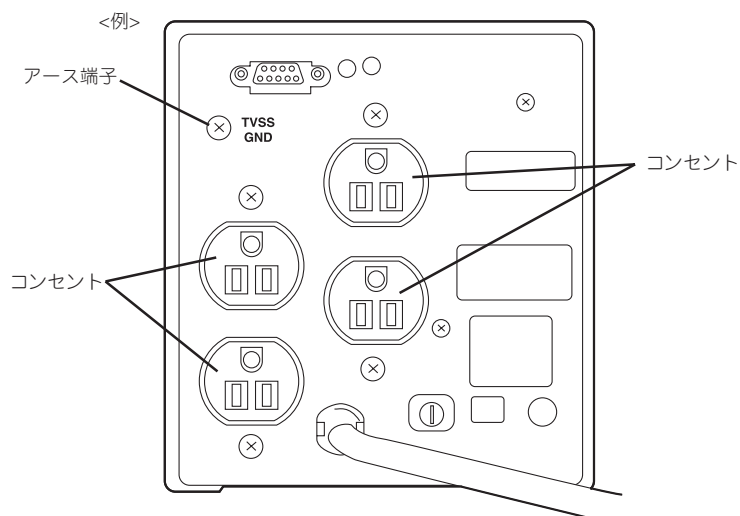
- ぬれた手で電源プラグを持たない

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- 指定以外のコンセントに差し込まない
- たこ足配線にしない
- 中途半端に差し込まない
- 指定以外の電源コードを使わない

重要

- 電源コードは本装置に添付のものを使用してくださ。
- コンセントはAC100V平行二極アース付きのものを利用してください。
- 電源コードのプラグ部分が圧迫されないようにしてください。

本装置の電源コードを無停電電源装置(UPS)に接続する場合は、UPSの背面にあるサービスコンセントに接続します。

<例>

本装置の電源コードをUPSに接続している場合は、UPSからの電源供給と連動(リンク)させるために本装置のBIOSの設定を変更してください。
CMOS Setupユーティリティの「Power Management Setup」ー「AC-Link」を選択すると表示されるパラメータを切り替えることで設定することができます。詳しくは5章を参照してください。

OSのセットアップについて

3章を参照して、Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版をセットアップしてください。

移動と保管

本装置を移動・保管するときは次の手順に従ってください。

⚠ 注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- 指定以外の場所に設置・保管しない
- プラグを差し込んだままアース線の取り付けや取り外しをしない
- 電源コードを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない
- 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

重要

- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- ハードディスクに保存されている大切なデータはバックアップをとっておいてください。
- ハードディスクを内蔵している場合はハードディスクに衝撃を与えないように注意して本装置を移動させてください。

1. フロッピーディスク、CD-ROMをセットしている場合は本装置から取り出す。
2. 本装置の電源をOFF（POWERランプ消灯）にする。
3. 本装置の電源プラグをコンセントから抜く。
4. 本装置に接続しているケーブルをすべて取り外す。
5. 本装置に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。